記者発表資料

由利本荘市　にかほ市　秋田県　東北農政局　東北森林管理局　森林整備ｾﾝﾀｰ　気象庁　国土交通省

令和４年３月３１日
子吉川圏域流域治水協議会

あらゆる関係者による流域治水の更なる推進・実践のため、子吉川水系において「流域治水プロジェクト」を更新しました。
～流域全体で目指す水害に強い由利本荘市～

○令和元年東日本台風での阿武隈川（福島県）・吉田川（宮城県）、令和２年７月豪雨での最上川（山形県）での災害をはじめ、昨今の豪雨災害の激甚化・頻発化を受け、流域を俯瞰し、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村等）が協働して取り組む治水対策「流域治水」への転換が重要であるとの認識に基づき、子吉川圏域流域治水協議会での議論を通じて、流域全体で実施すべき対策の全体像を「子吉川水系流域治水プロジェクト」としてとりまとめ、令和３年３月に公表いたしました。

○今回、グリーンインフラの取り組みや水災害リスク情報、指標を用いた取り組み状況を加えるなどプロジェクトの更なる充実を図りましたので、プロジェクトを更新・公表いたします。

○「子吉川水系流域治水プロジェクト」では、国、県、市町村等が連携し、河道掘削、堤防整備、鳥海ダム建設等を着実に実施していく他、農地・農業水利施設や森林整備・治山対策と連携した流出抑制、水害に強いまちづくりなどの対策を組み合わせた流域治水を引き続き、進めて参ります。

※詳細については、別紙１（子吉川水系流域治水プロジェクト）
又は以下URLよりをご覧下さい。
http://www.thr.mlit.go.jp/akita/river/10_ryuuikichisuikyougikai/index.html

＜発表記者会＞：秋田県政記者会

問 合 せ 先

【事　務　局】
東北地方整備局　秋田河川国道事務所
秋田市山王一丁目１０番２９号　　電話　０１８－８２３－４１６７（代表）
副所長（河川）　猿田（さるた）　誠（まこと）　（内線 204）
調査第一課長　山中（やまなか）　彰人（あきひと）　（内線 351）

国土交通省

秋田県　建設部　河川砂防課
秋田市山王四丁目１番１号　　電話　０１８－８６０－２５１１
課　長　田森（たもり）　清美（きよみ）
班　長　小玉（こだま）　大史（ひろし）

秋田県

子吉川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～流域全体で目指す水害に強い由利本荘市～

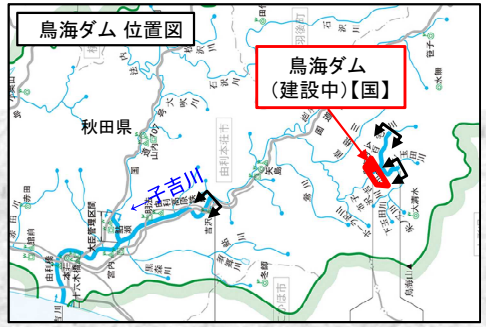
別紙１

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、子吉川水系においては、上流部が急勾配であり急激な水位上昇が生じる地形特性を考慮し、河川整備に併せて、民間企業と連携した水害に強いまちづくりや迅速な情報提供などの対策を組み合わせた流域治水の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和22年洪水（前線及び低気圧）と同規模の洪水が発生しても床上浸水等の重大な家屋浸水は防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図







■氾濫をできるだけ防ぐ･減らすための対策
- ･河道掘削、堤防整備、鳥海ダム建設、砂防堰堤
- ･既存ダム等2ダムにおける事前放流等の実施
- ･水田貯留
- ･森林整備･治山対策　　等







■被害対象を減少させるための対策
- ･民間と連携した水害に強いまちづくり　等

■被害の軽減、早期復旧･復興のための対策
- ･メディアと連携による洪水情報の提供
- ･簡易型河川監視カメラの運用
- ･要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ･想定最大規模の洪水に基づくハザードマップの作成及び公表、説明会、周知の実施
- ･水害リスク空白域の解消　等





■グリーンインフラの取り組み　詳細次ページ



凡例
- 堤防整備
- 堤防強化
- 河道掘削
- 浸水想定範囲（昭和22年7月洪水等と同規模想定）
- 大臣管理区間

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

子吉川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～流域全体で目指す水害に強い由利本荘市～

●グリーンインフラの取り組み　　『 アユなどが生息する良好な生息環境を目指して 』

〇マスやアユ等の清澄な水を好む回遊魚が豊富に生息している他、コイやウグイ、マハゼ、カワヤツメ、シロウオ、モズクガニなど多様な魚種が確認されている。また、風物詩であるコイの追込み漁やゴリ漁などの伝統的な漁法が残っているだけではなく、ヤマメ釣りやアユの友釣りなど釣りも盛んに行われている。

〇魚類の生息環境となる瀬や淵、アユの産卵床などの良好な河川環境を目指し、多様な河川環境を保全するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。

■グリーンインフラメニュー

●健全なる水循環系の確保
・森林整備・治山対策による生物の生育環境の保全と水源涵養機能の維持

●治水対策における多自然川づくり
・生物の多様な生息環境の保全

●流域治水に資する水田、ため池の保全
・生物の多様な生息環境の保全（水田・ため池）

●自然環境が有する多様な機能活用の取り組み
・小学校などにおける環境学習
・鳥海ダムを活用したインフラツーリズム

【全域に係わる取組】
・動植物の生息・生育・繁殖環境の保全
・水質の保全
・良好な景観の保全
・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間への連携・支援

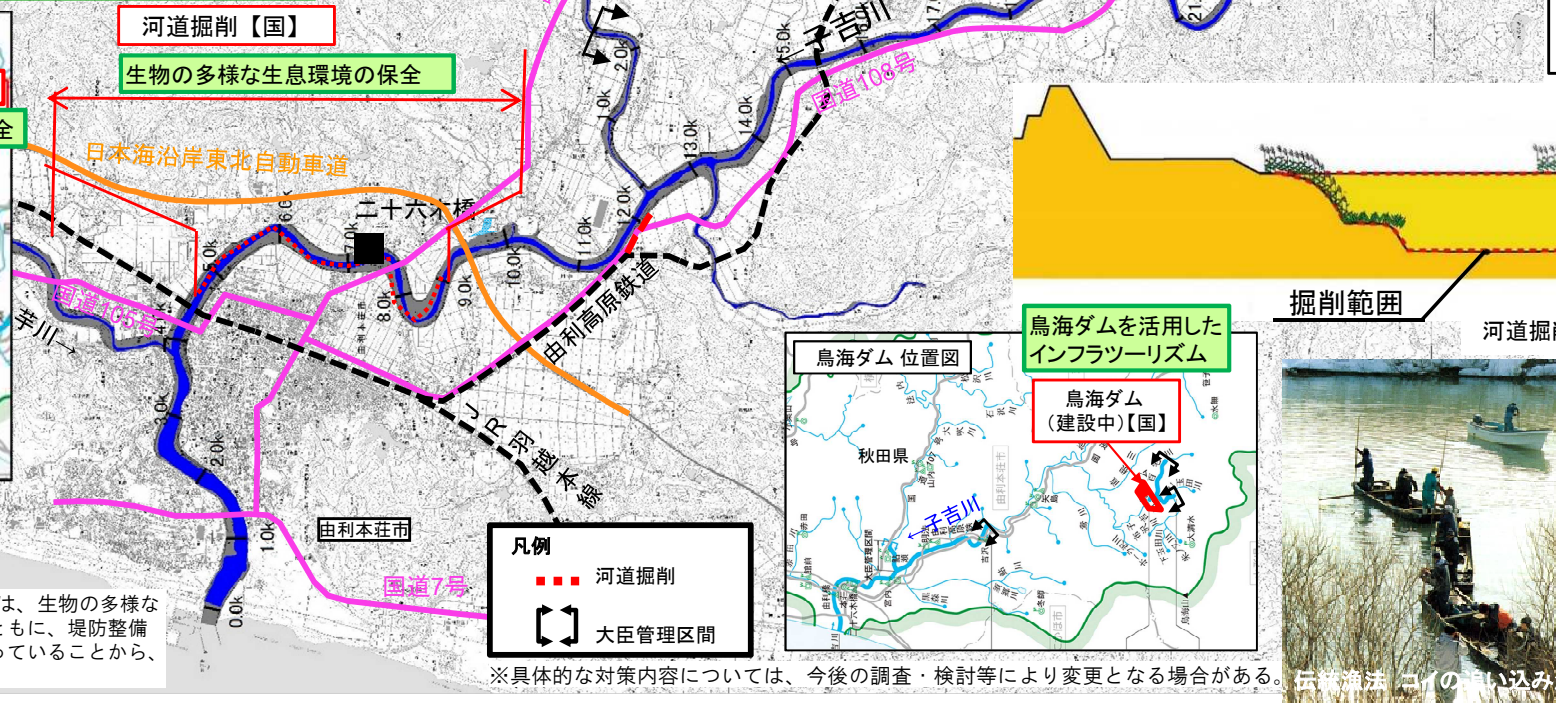
森林整備・治山対策による生物の生育環境の保全と水源涵養機能の維持

水田貯留
生物の多様な生育環境の保全（水田貯留）

秋田県



河道掘削【国】
生物の多様な生息環境の保全



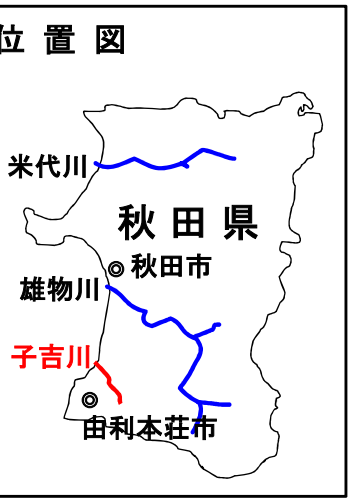
河道掘削イメージ

鳥海ダムを活用したインフラツーリズム

伝統漁法 コイの追い込み漁



アユ釣り



凡例
- 河道掘削
- 大臣管理区間

※県管理河川の河道掘削箇所では、生物の多様な生息環境の保全に取り組むとともに、堤防整備箇所においても河道掘削を行っていることから、同様の取り組みを行う。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

子吉川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～流域全体で目指す水害に強い由利本荘市～

○ 子吉川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短　期】家屋浸水等で重大災害を防ぐため、主に河道掘削等を実施するとともに、安全なまちづくりのため民間と連携した水害に強いまちづくりの実施や水害リスク空白域の解消に努め、住民の避難行動を促すためハザードマップの公表、周知等を行う。

【中　期】床上浸水等の重大な家屋浸水を防ぐため、堤防整備、河道掘削、ダムの建設等を実施するとともに、簡易型河川監視カメラを活用した避難体制の強化を図る。

【中長期】堤防整備、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図るとともに、メディアと連携による洪水情報の提供など、より確実な避難体制の構築を図る。

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※ ■■■■■ :対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

区分	対策内容	実施主体	工程 短期 / 中期 / 中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削	秋田河川国道事務所 秋田県	堤防整備、河道掘削等 河道掘削等
	鳥海ダム建設	鳥海ダム工事事務所	鳥海ダム完成
	既存ダム2ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、秋田県、由利本荘市）	秋田河川国道事務所 秋田県、由利本荘市	
	水田貯留（支援含む） ※実施に向けて検討する取組	東北農政局、秋田県、 由利本荘市 他	
	森林整備・治山対策	東北森林管理局、秋田県 森林整備センター	
被害対象を減少させるための対策	民間と連携した水害に強い町づくり	由利本荘市	水害に強いまちづくりの実施（由利本荘市）
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	メディアと連携による洪水情報の提供	秋田河川国道事務所 秋田県	メディアと連携した洪水情報の提供
	簡易型河川監視カメラの運用	秋田河川国道事務所 秋田県	
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	由利本荘市　他	避難確保計画作成の促進（由利本荘市）
	想定最大規模の洪水に基づくハザードマップの作成及び公表、説明会、周知の実施	由利本荘市　他	ハザードマップの周知等（由利本荘市）
	水害リスク空白域の解消	東北地方整備局	水害リスク空白域の解消
グリーンインフラの取組	生物の多様な生息環境の保全（河川）	秋田河川国道事務所 秋田県	
	生物の多様な生息環境の保全（水田、ため池）	東北農政局、秋田県、 由利本荘市 他	
	小学校などにおける環境学習	秋田河川国道事務所	
	鳥海ダムを活用したインフラツーリズム	鳥海ダム工事事務所	
	森林整備・治山対策による生物の生育環境の保全と水源涵養機能の維持	東北森林管理局、秋田県 森林整備センター	

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

【事業費（ R2年度以降の残事業費）】

■河川対策
全体事業費　約１，２４０億円　※1
対策内容　河道掘削、堤防整備、鳥海ダム建設　等

※1：直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載

子吉川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

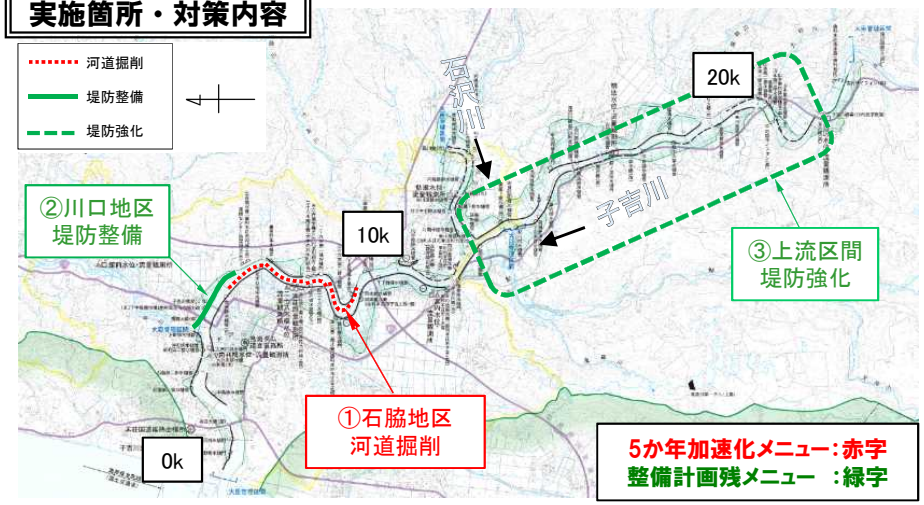
～流域全体で目指す水害に強い由利本荘市～

進捗と効果（R4.3版）

○石脇地区の河道掘削の進捗により、背後の由利本荘市街地の浸水リスクが軽減する。

短期整備（5か年加速化対策）効果：河川整備率　約72%→約77%

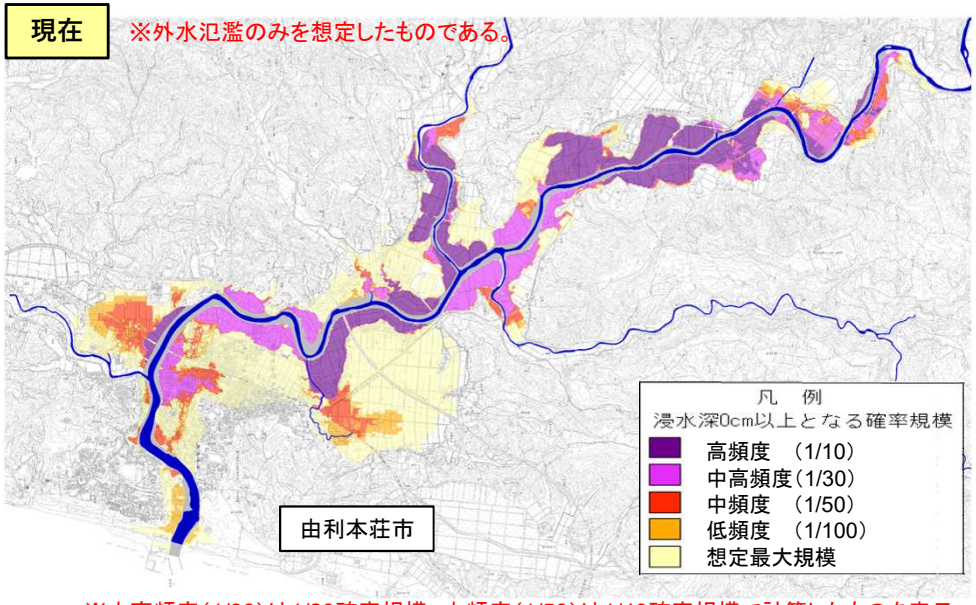
実施箇所・対策内容



区分	対策内容	区分	【5ヵ年加速化対策】短期（R3～R7年）	中期（R8～R12年）	中長期（R13～24年）
関連事業			R3	●鳥海ダム完成	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（国）	河道掘削 88%→100%	①石脇地区	100% 短期で河道掘削が完了		
	堤防整備 0%→100%	②川口地区		100%	
	堤防強化 質的整備 60%→100%	③上流区間		70%	100%

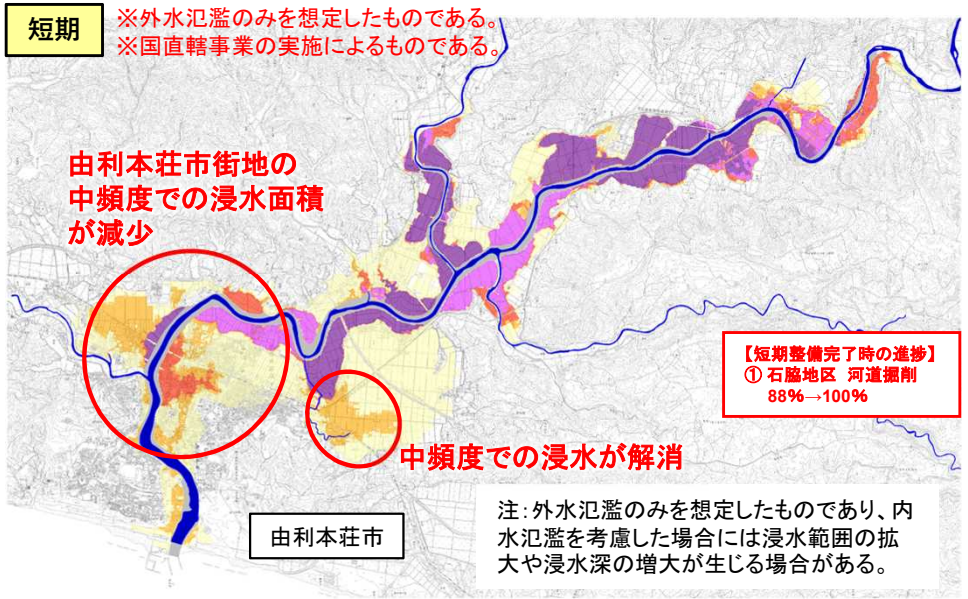
注：スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

現在　※外水氾濫のみを想定したものである。



※中高頻度（1/30）は1/20確率規模、中頻度（1/50）は1/40確率規模で計算したものを表示しているため、今後、修正を加える予定としている。

短期　※外水氾濫のみを想定したものである。
※国直轄事業の実施によるものである。



※浸水範囲は、今後の調査・検討や対策内容等により変更となる場合がある。

子吉川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～流域全体で目指す水害に強い由利本荘市～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）

整備率：７７％

（概ね５か年後）

農地・農業用施設の活用

１市町村

（令和３年度末時点）

流出抑制対策の実施

０施設

（令和２年度実施分）

山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策

治山対策等の実施箇所　７箇所

（令和３年度実施分）

砂防関係施設の整備数　０施設

（令和３年度完成分）

立地適正化計画における防災指針の作成

０市町村

（令和３年12月末時点）

避難のためのハザード情報の整備

洪水浸水想定区域　３河川

（令和３年12月末時点）

内水浸水想定区域　０団体

（令和３年11月末時点）

高齢者等避難の実効性の確保

避難確保計画　洪水　41施設

土砂　12施設

（令和３年９月末時点）

個別避難計画　集計中

（令和４年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

●森林整備・治山対策
（東北森林管理局、森林整備センター、秋田県）

針水沢治山工事の状況
（由利森林管理署）



間伐の状況
（森林整備センター）



●河道掘削　二十六木地区の河道掘削状況
（秋田河川国道事務所）



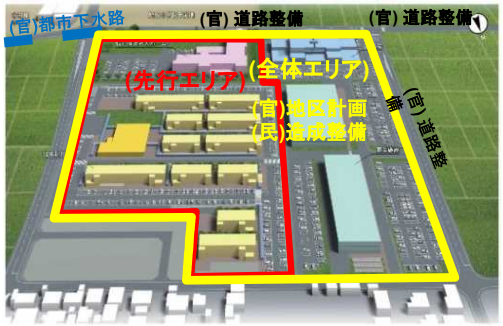
被害対象を減少させるための対策

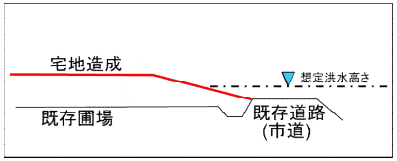
●民間と連携した水害に強いまちづくり（由利本荘市）

・土地嵩上げにより浸水被害の減少を合わせた官民連携による宅地造成を行う。

令和3年度：(官)都市計画決定（都市下水路、地区計画）
(民)用地買収、造成着手（先行エリア）

令和4年度：(官)都市下水路整備着手、道路整備着手
(民)造成（先行エリア）





被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

●想定最大規模の洪水に基づくハザードマップの周知
（由利本荘市）

・令和3年3月に由利本荘市全戸に配布し、市公式ホームページに掲載。
・由利本荘市ケーブルテレビで周知
・令和3年度は、説明会実施。（19地区）



◎洪水の雨量基準を変更

これまで50年または100年に1度の大雨を想定してたものを千年に1度の想定で更新

